

テーマ3 資源循環型社会の構築

施策の柱3.1 4Rの推進

目標9

市民1人1日あたりの資源物を除いたごみの排出量を令和2年度(2020年度)までに614gにします。

【目標担当課:資源循環課】

*平成20年度(2008年度)時点での市民1人あたりの資源物を除いたごみの排出量は763gとなっています。

*目標9は「茅ヶ崎市一般廃棄物(ごみ・生活排水)処理基本計画」と整合性を図った数値としています。

平成30年3月の同計画の改訂に伴い、平成30年度の取り組みより目標値を574gから614gに変更しました。

目標10

リサイクル率を令和2年度(2020年度)までに27.0%にします。

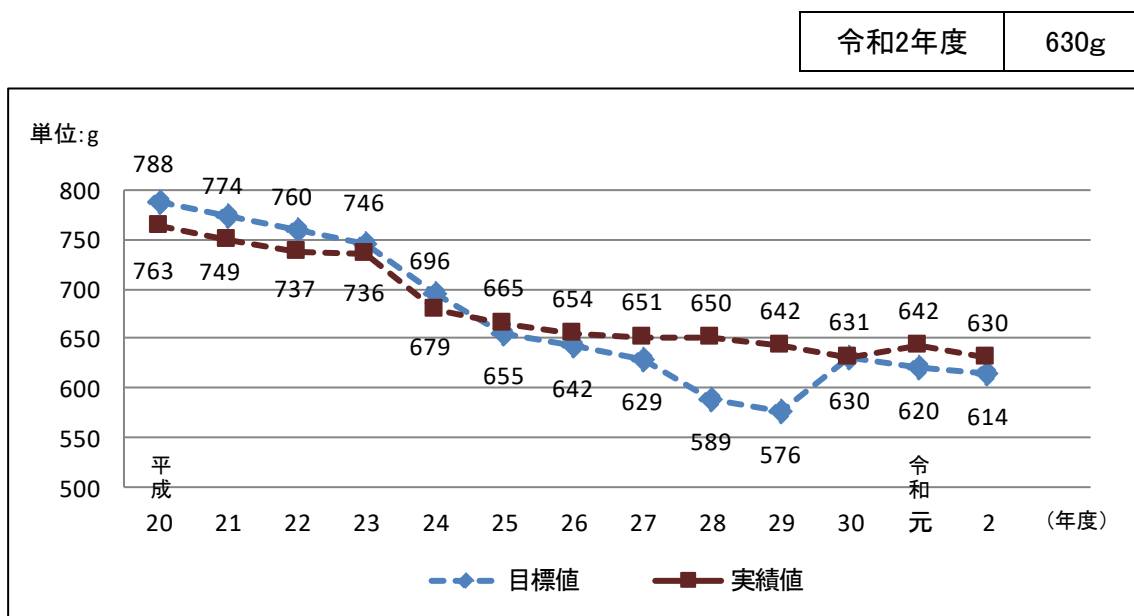
【目標担当課:資源循環課】

*ごみの排出量に占める資源物の割合。①資源ごみとして回収したもの、②収集後の選別処理により回収したもの、③焼却灰の熔融化量等をごみ排出量で除したもの。

*目標10は「茅ヶ崎市一般廃棄物(ごみ・生活排水)処理基本計画」と整合性を図った数値としています。平成30年3月の同計画の改訂に伴い、平成30年度の取り組みより目標値を34.7%から27.0%に変更しました。

■目標9の進捗状況

●市民1人1日あたりのごみ排出量の推移(資源物を除く)



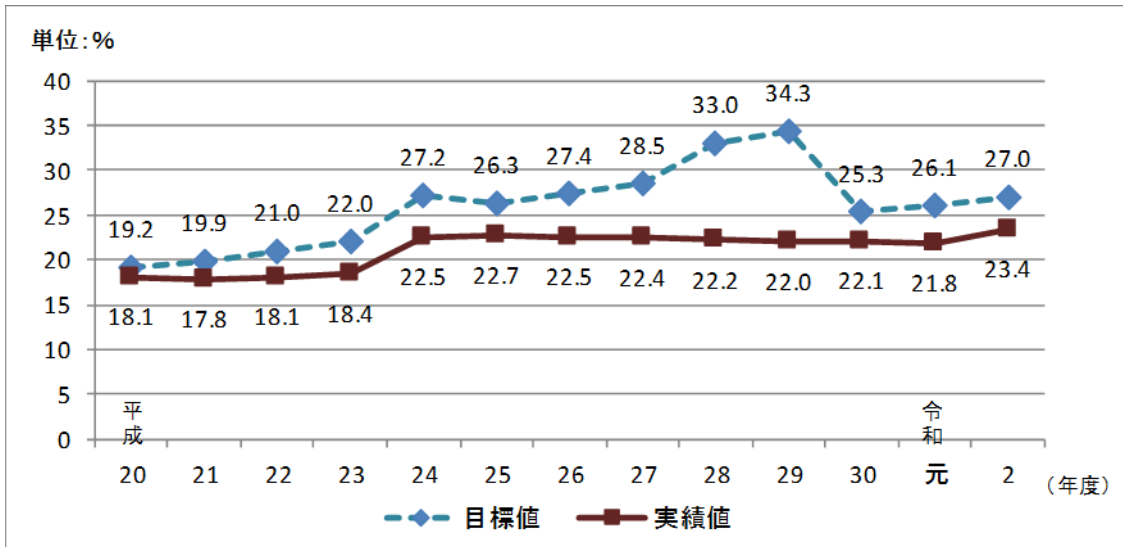
*単年度の目標値は「一般廃棄物(ごみ・生活排水)処理基本計画」によるもの。

(平成24年度までは20年3月策定の計画、25から29年度までは25年3月改訂の計画、30年度以降は30年3月に改訂した計画より抜粋)

■目標10の進捗状況

●リサイクル率の推移

令和2年度	23.4%
-------	-------



*単年度の目標値は「一般廃棄物(ごみ・生活排水)処理基本計画」によるもの。
 (平成24年度までは20年3月策定の計画、25から29年度までは25年3月改訂の計画、30年度以降は30年3月に改訂した計画より抜粋)

(参考)資源物排出量の推移

単位:t

項目	令和元年度			令和2年度			
	予測(A)	実績(B)	(A)-(B)	予測(A)	実績(B)	(A)-(B)	
びん	2,156	1,701	455	2,180	1,779	401	
かん	842	699	143	851	752	99	
ペットボトル	764	724	40	772	758	14	
古紙類	新聞ちらし	1,172	627	545	1,184	520	664
	本・雑誌・雑紙	4,175	3,373	802	4,221	3,302	919
	段ボール	3,165	2,747	418	3,199	3,020	179
	飲料用紙パック	82	57	25	84	63	21
衣類・布類	1,161	1,161	0	1,174	1,370	-196	
プラスチック製容器包装類	2,556	2,440	116	2,584	2,612	-28	
廃食用油	80	87	-7	81	94	-13	
金属	85	69	16	86	79	7	
小型家電	2	20	-18	32	26	6	
合計	16,240	13,705	2,535	16,448	14,375	2,073	

■概要

- ・マイバッグ持参の普及に向けた取り組みを推進します。
- ・不要なレジ袋及び過剰包装の辞退をはじめ、不要なものを「買わない」、「受け取らない」という生活様式が本市の文化として定着するよう啓発事業を推進します。

■令和2年度の取り組み

(1)リフューズを念頭に置いた生活様式の定着に向けた啓発事業の推進

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名及び令和2年度事業費*	担当課
マイバッグ持参の推進に向けた啓発活動	・レジ袋の有料化に合わせ、デジタルサイネージ等を活用して、マイバッグ持参の呼びかけを行いました。	ごみの減量化・資源化に関する啓発事業 予算額【343千円】 決算額【271千円】	資源循環課
市内事業者へのレジ袋削減の協力呼びかけ	・レジ袋の有料化に合わせ、デジタルサイネージ等を活用して、レジ袋削減の協力を呼びかけました。		
「ごみ通信ちがさき」の発行等を通じたごみ処理に対する意識啓発事業	・「ごみ通信ちがさき」の発行を取り止めたため、既存のちらしを窓口で配布することで、啓発を実施しました。		

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■成果・課題と評価

成果	評価
・コロナ禍であった令和2年度において、可能な範囲でマイバッグ持参について周知啓発することができた。	C
課題	A:極めて順調に進んでいる B:おおむね順調に進んでいる C:ある程度進んでいる D:あまり進んでいない E:積極的な取り組みが必要 -:取り組みなし(評価不能)
・昨今話題となっている食品ロス問題にもあるように、「買い物時に買いすぎない」、「食材を無駄にしない」といった具体的な行動変容につながるような周知啓発が必要です。	

レジ袋削減にご協力ください。

プラスチック製買物袋の有料化がスタートしています！

マイバッグを持ってお買い物！



ごみの削減、海洋プラスチックごみや地球温暖化などの環境問題の解決のためにも、プラスチックの過剰な使用を抑制しましょう！

茅ヶ崎市 環境部 資源循環課 環境政策課

デジタルサイネージでの啓発

■概要

- ・ごみの排出状況や市民活動団体等の取り組み、また「茅ヶ崎市廃棄物減量等推進審議会」における協議内容を分かりやすく周知し、行動改善を促進します。
- ・ごみ処理施設の見学等をはじめ、特に子どもを対象とした学習機会の充実を図ります。
- ・事業者に対して積極的に「ごみ減量・リサイクル推進店」(※)制度への参画を呼びかけ、簡易包装やばら売りの推進を図ります。
- ・必要に応じて家庭ごみの有料化の導入に向けて検討を行います。

■令和2年度の取り組み

(1)ごみの排出状況や市民活動団体等の取り組み内容の周知と行動改善の促進

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和2年度事業費*	担当課
「ごみ通信ちがさき」の発行等を通じたごみ処理に対する意識啓発(再掲)	・「ごみ通信ちがさき」の発行を取り止めたため、既存のちらしを窓口で配布することで、啓発を実施しました。	ごみの減量化・資源化に関する啓発事業 予算額【343千円】 決算額【271千円】	資源循環課
生ごみ処理容器(※)、家庭用電動式生ごみ処理機(※)の普及啓発、購入補助	・生ごみ処理容器の斡旋販売を68台、家庭用電動式生ごみ処理機を購入補助を45件実施しました。	ごみの減量化・資源化に関する支援業務 予算額【1,302千円】 決算額【1,253千円】	

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(2)子どもを中心とした学習機会の充実

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和2年度事業費*	担当課
小中学生を対象とした出前講座の実施	・小学校5校で出前講座を実施しました。	ごみの減量化・資源化に関する啓発事業 予算額【343千円】 決算額【271千円】	資源循環課

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(3)事業者に対する簡易包装やばら売りの推進

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和2年度事業費*	担当課
ごみ減量・リサイクル推進店の周知と加入促進	・デジタルサイネージや市ホームページを活用して、認定店のPRの実施及び拡大を図りました。	ごみの排出抑制推進事業 予算額【39,456千円】 決算額【37,489千円】	資源循環課

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(4)一般廃棄物(ごみ・生活排水)処理基本計画に基づく可燃ごみ減量への取り組み

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和2年度事業費*	担当課
家庭ごみの有料化検討	・令和4年4月からの導入に向け、所要の準備を行うとともに「茅ヶ崎市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例」改正を行いました。	家庭ごみ有料化導入の検討業務 予算額【16,282千円】 決算額【16,046千円】	資源循環課


*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■成果・課題と評価

成果	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、小学校の出前講座など可能な範囲での周知啓発、生ごみ処理容器の斡旋販売や電動式生ごみ処理機の購入補助を実施することができました。 ・令和4年4月から家庭ごみ有料化に向け「茅ヶ崎市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例」改正を行いました。 	<p>B</p>
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年4月からのごみ有料化の導入に向け、制度周知や指定ごみ袋を使用したごみの出し方などについて、より丁寧な説明が求められます。 	<p>A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)</p>




出前授業



家庭用生ごみ処理機(手動式・電動式・消滅型)の購入費を一部補助します!

茅ヶ崎市では、ごみの減量化・資源化の推進のため、家庭用生ごみ処理機の購入費を一部補助しています。
 処理機の税込本体価格の3分の1(100円未満切り捨て)最大2万5千円の補助が受けられます。
 (※1世帯につき1台限りです)
 補助金の交付申請については、チラシの裏面に詳しく載っています。

種類	特徴	代表的な機種
手動式	電気を要わず、ハンドル操作で専用パイオチップと生ごみを混ぜて堆肥化します。	手動式
電動式	家庭用電源を利用して生ごみを分解腐敗し、堆肥化または消滅化します。	パイオ式 熱乾燥式 ハイブリット式
消滅型	土の中の微生物により生ごみを分解し堆肥化します。	コンポスト キエーロ




ネコ本

● 家庭の生ごみを減らしましょう!

【家庭から出る燃やせるごみの内訳】(平成28年度ごみの組成分析結果)

燃やせる(41%) (生ごみ)	紙類(26.5%)	その他(11.6%)
--------------------	-----------	------------

茅ヶ崎市の家庭から出る燃やせるごみの約半分が生ごみです。生ごみを減らすことが、ごみ減量の近道です!
この機会に、家庭用生ごみ処理機でごみ減量生活を始めてみませんか?



お母ちゃん

家庭用生ごみ処理機の購入補助制度チラシ

■概要

- ・家庭用品の再利用を促進するため、各種制度や取り組みの運営推進に努めます。
- ・リサイクル推進店未認定のリサイクルショップやリターナブルびん(※)取扱店、リペアショップなどの認定を促進し、認定店舗の情報を市民・事業者に発信することで資源の有効活用とごみの減量化を図ります。

■令和2年度の取り組み

(1)家庭用品の再利用促進、各種制度や取り組みの運営推進

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和2年度事業費*	担当課
FKP(古本回収プロジェクト)	・環境フェアにおいて、FKP(不要品回収プロジェクト)の実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、環境フェアは中止しました。	環境フェア開催事業 予算額【0千円】 決算額【0千円】	環境政策課
環境フェア(※)におけるリユース食器の活用	・環境フェアにおいて、リユース食器の活用を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、環境フェアは中止しました。		
出前講座や環境学習の実施	・自治会を対象とした出前講座等は取り止めたものの、小学校5校で出前講座を実施しました。	ごみの減量化・資源化に関する啓発事業 予算額【343千円】 決算額【271千円】	資源循環課

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(2)リユースについての情報集約・発信

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和2年度事業費*	担当課
「ごみ通信ちがさき」の発行等を通じたごみ処理に対する意識啓発(再掲)	・「ごみ通信ちがさき」の発行を取り止めたため、既存のちらしを窓口で配布することで、啓発を実施しました。	ごみの減量化・資源化に関する啓発事業 予算額【343千円】 決算額【271千円】	資源循環課

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■成果・課題と評価

成果	評価
・コロナ禍において、可能な範囲での小学校の出前講座を実施することができました。	D
課題 ・フリーマーケットアプリ等民間事業者によるリユース分野の取り組みが活発になってきたことに伴い、市が実施していたリユース事業を見直してきましたが、ごみ減量化にもつながる取り組みであることから、引き続きリユース促進につながるよう周知啓発を実施していく必要があります。	A:極めて順調に進んでいる B:おおむね順調に進んでいる C:ある程度進んでいる D:あまり進んでいない E:積極的な取り組みが必要 -:取り組みなし(評価不能)

■概要

- ・資源物における分別品目の拡充を図ります。
- ・食品残渣の循環についてより身近に意識してもらえるよう、市民農園や家庭菜園を対象にコンポスト(※)設置と利用を啓発し、実施可能な資源化施策の推進を図ります。
- ・バイオガス化の検討を行います。

■令和2年度の取り組み

(1) 資源物における分別品目の拡充と情報発信

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和2年度事業費*	担当課
使用済小型家電の収集(※)	・使用済小型家電のボックス回収及び宅配回収を継続的に実施しました。	資源化促進事業	資源循環課
剪定枝(※)の資源化検討・研究	・令和3年4月からの導入に向け、事業スキームを決定し、各種広報媒体を活用して、周知を実施しました。	予算額【250,623千円】 決算額【250,622千円】	
インクカートリッジ里帰りプロジェクト	・市役所本庁舎等3箇所インクカートリッジ回収箱を設置し家庭用インクカートリッジを回収しました(回収量24.26kg)。 ・茅ヶ崎市商店会連合会のインクカートリッジ回収プロジェクトに協力し、インクカートリッジを回収しましたが(回収量41kg)、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から学校への配布は見送りました。	省エネルギー及び地球温暖化対策に対する普及啓発事業 予算額【425千円】 決算額【408千円】	環境政策課
「ごみ通信ちがさき」の発行等を通じたごみ処理に対する意識啓発(再掲)	・「ごみ通信ちがさき」の発行を取り止めたため、既存のちらしを窓口で配布することで、啓発を実施しました。	ごみの減量化・資源化に関する啓発事業	資源循環課
適正分別のための啓発、情報提供	・「剪定枝の資源化」及び「収集方法の見直し(廃食用油・金属類)」に関して、各種広報媒体を活用して、周知を実施しました。	予算額【343千円】 決算額【271千円】	

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(2) 食品残渣の循環と実施可能な資源化施策の推進

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和2年度事業費*	担当課
生ごみ処理容器の利用案内	・市ホームページの案内を充実させるとともに各出張所におけるちらし配布を実施しました。	ごみの減量化・資源化に関する支援業務 予算額【1,302千円】 決算額【1,253千円】	資源循環課

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■成果・課題と評価

成果	評価
・令和3年4月からの剪定枝資源化導入に向け、事業スキームを決定するとともに、「剪定枝の資源化」及び「収集方法の見直し(廃食用油・金属類)」に関して、各種広報媒体を活用して、周知を実施しました。	C
課題	A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)
・コロナ禍で巣ごもり需要が高まり、また家の片づけ機会が増加したこと等の要因から、昨年度と比較してリサイクル率が向上しているが、分別種目の増加や出し方変更などを踏まえ、適正分別のための啓発や情報提供を継続的に実施していく必要があります。	

施策の柱3.2 地域資源を活かす地産地消の推進

目標11

地元農畜水産物を取り扱う店舗を、令和2年度(2020年度)までに90店舗にします。

【目標担当課:農業水産課】

*ここで掲げる地元農畜水産物を取り扱う店舗とは、「茅産茅消応援団(※)」参加店舗数を指します。

目標12

学校給食における地場産農水産物の使用品目数について、令和2年度(2020年度)まで15品目以上を維持します。

【目標担当課:学務課】

目標13

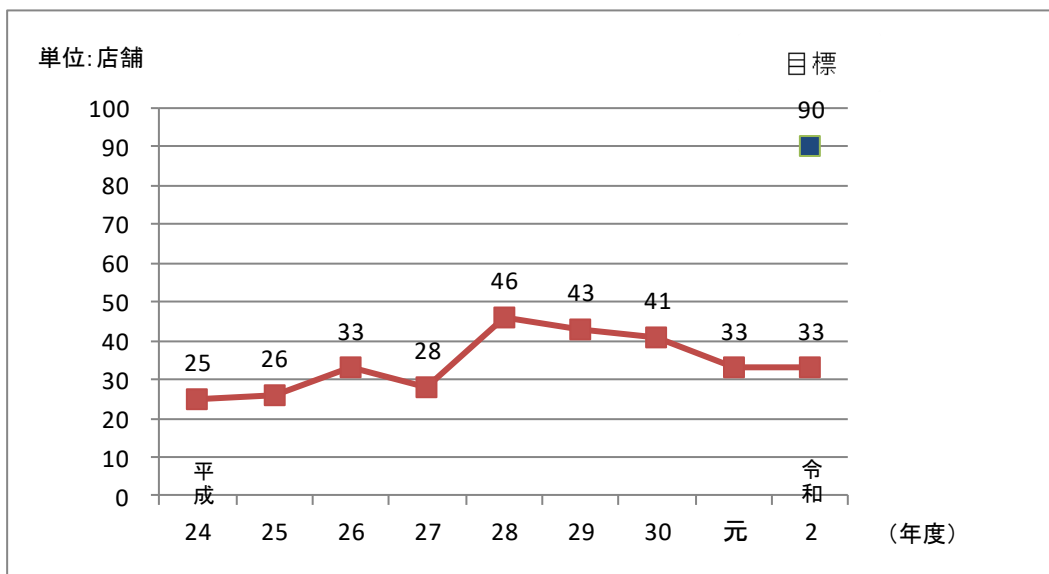
環境に配慮した農業に取り組む農業者や協力者を増やします。

【目標担当課:農業水産課】

■目標11の進捗状況

●茅産茅消応援団参加店舗数

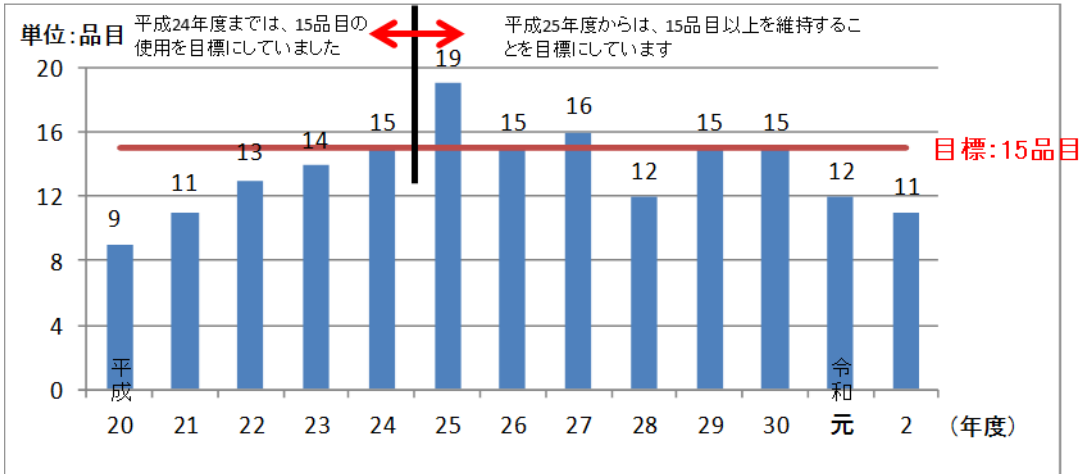
項目	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
店舗数	25店舗	26店舗	33店舗	28店舗	46店舗	43店舗	41店舗	33店舗	33店舗



■目標12の進捗状況

●学校給食における地場農水産物の使用品目数

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
品目数	15品目	19品目	15品目	16品目	12品目	15品目	15品目	12品目	11品目



■目標13の進捗状況

●エコファーマー(※)認定生産者数

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人数	3名	3名	3名	2名	3名	3名	2名	1名	1名

●マルハナバチ導入育成事業補助金

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
件数	16件	16件	19件	17件	18件	17件	15件	14件	14件

●熱水・土壌病害虫防除事業補助金

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
件数	2件	2件	1件	2件	1件	1件	1件	1件	2件

●土壌改良事業補助金

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
件数	74件	68件	48件	62件	66件	59件	56件	40件	65件

●施設野菜病害虫防除事業補助金

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
件数	22件	22件	24件	21件	22件	25件	21件	22件	23件

■概要

- ・地域農業の活性化、食の安全の確保を目的に、地域で採れたもの(資源)を地域で消費する「地産地消」(循環)を推進します。
- ・学校給食における地場産食材を使ったメニューの開発や、小売業、生産者との連携による地産地消の推進を図ります。
- ・市内における地産地消の取り組みや方法を市民や事業者に広く紹介し、地場産農水産物・加工品の利用を促進します。
- ・関係機関と協力し、生産者と地域住民が交流しながら地場産農水産物・加工品を販売する場の拡充をはじめ、生産者のニーズに合った販路の拡大に対する支援を進めます。

■令和2年度の取り組み

(1)学校給食における地産地消の推進

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和2年度事業費*	担当課
保育園給食における地場産野菜などの使用	・茅ヶ崎青果商組合などに協力いただき、できる限り使用しました。 ・市内産の野菜を使った献立の時には、給食時間の話題とし、園児が地産に興味を持てるように取り組みました。	児童指導育成事業 予算額【53,306千円】 決算額【49,576千円】	保育課
地場産野菜と水産物の継続的な使用	・青果市場、生産者、青果商組合の協力により茅ヶ崎産野菜が市場に出された場合には、優先的に給食用として納品いただいています。また、茅ヶ崎カレーや夏期のかぼちゃについては、地場産野菜を使用することをあらかじめ決めている場合は市場と生産者の協力により必要な野菜の量と時期をあわせて生産量の調整などもお願いしています。また、水産物の「湘南しらす」については11月に「湘南しらすごはん」として使用しました。		
全校共通による地場産食材を使用した献立の提供	・6月に「地場産夏野菜カレー(なす、かぼちゃ、トマト)」、7月に「かぼちゃのそぼろ煮(かぼちゃ)」、9月には「マーボーなすトマト(なす)」、10月は「ちがさき秋カレー(さつま芋)」、11月には「古代米ごはん(黒米)」、1月には「ちがさきカレー(ほうれんそう)」を実施しました。	学校給食の管理及び運営等に係る事務 予算額【20,881千円】 決算額【20,427千円】	学務課
茅ヶ崎産新米を使った給食を提供	・11月から12月にかけて茅ヶ崎産米5tを購入し、市内各小学校において5回から6回の茅ヶ崎産新米による給食を実施しました。茅ヶ崎産米についてはさがみ農業協同組合の協力を得て検査を実施し、市内米穀店で精米をしたものです。		
児童や保護者への地場野菜使用の周知	・「給食だより」(月1回)、「ミニ給食ニュース」(毎日)や地場野菜デーの時に、生産者や流通に関わった業者へのインタビューした時の顔写真やコメントを校内掲示板に掲示しました。また、児童からは生産者への御礼の手紙も届いています。		
栄養士による茅ヶ崎の農業についての学習、生産者・市場等との連絡調整	・毎月青果商組合より、地場野菜の最新情報を得て、各小学校の栄養士に連絡することにより献立組み替え作業時に当月の間でより多くの地場産野菜が使用できるように調整しています。		

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(2) 市内における地産地消の取り組み、方法等の紹介と、地場産農水産物・加工品の利用促進

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和2年度事業費*	担当課
地産地消の周知	・春・秋の農業まつりをはじめ、果樹の持寄り品評会、市の花の展覧会、湘南花の展覧会など定例的な催事が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止せざるを得ない状況でした。ちがさき茅産茅消普及協議会と連携し、周知パンフレットを作成し市民へ周知しました。	農産物地産地消 推進事業 予算額【18,401千円】 決算額【14,165千円】	農業水産課

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(3) 生産者と地域住民との交流、地場産農水産物・加工品を販売する機会の拡充

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和2年度事業費*	担当課
各種品評会、展覧会、園芸講習会などを通じた地産地消の推進	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業は実施しませんでした。地産地消に関しては、周知パンフレットを作成し、市民へ周知しました。	農産物地産地消 推進事業 予算額【18,401千円】 決算額【14,165千円】	農業水産課
海辺の朝市の支援	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年通りの開催とはなりませんでしたが、再開に際し市の他の催事の開催状況を朝市の開催業者と共有し、必要に応じた支援を行いました。		
道の駅を見据えた商品開発における連携	・市内農家との連携し、流通販路、商品開発の方向性を検討しました。		

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■ 成果・課題と評価

成果	評価
・保育園給食及び学校給食において、地場産食材を使用したメニューを提供するとともに、「給食だより」等において地場産食材の周知を行うことができました。	C
課題 ・昨年度はコロナ禍により各種イベント自粛が重なったため、感染対策を講じながらのイベント実施、周知啓発をどのようにしていくか検討する必要があります。 ・生産者のニーズと消費者の嗜好を踏まえながら、地場産農水産物や加工品を販売する機会の拡充を図る必要があります。	

A: 極めて順調に進んでいる
B: おおむね順調に進んでいる
C: ある程度進んでいる
D: あまり進んでいない
E: 積極的な取り組みが必要
-: 取り組みなし(評価不能)

■概要

- ・環境保全型農業(※)に関する技術や事例等の情報提供を行います。
- ・有機栽培や減農薬栽培等に取り組む農業者への補助等を実施します。

■令和2年度の取り組み

(1) 環境保全型農業に関する技術や事例等の情報提供

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和2年度事業費*	担当課
さがみ農業協同組合と連携した環境保全型農業推進事業の周知	・さがみ農業協同組合と連携し、生産者需要の動向の把握に努めました。	環境保全型農業推進事業 予算額【1,810千円】 決算額【1,810千円】	農業水産課

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■成果・課題と評価

成果	評価
・目標13の進捗状況にあるように、環境保全型農業に取り組んでいる農家に対し、さがみ農業協同組合と連携し、補助を行うことができました。	C
課題	
・引き続き、様々な機会をとらえて、環境に配慮した農業の普及啓発に努めることが必要です。	A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)